

○1番菊地葉子君（登壇・拍手）日本共産党道議団を代表して、先ほど提案されました補正予算案について、以下、知事に伺います。

初めに、国際農業交渉等に関し、まず、食料自給率等についてです。

T P P 11や日 E U ・ E P A が相次いで発効され、国際化の進展と食料の海外依存が一気に進んでいます。

国の食料自給率は、カロリーベースで38%に低迷しており、北海道では災害の影響があったとはいえ、2016年度は200%を切る185%となりました。

穀物自給率に至っては、人口が1億人を超える11カ国のうち、日本以外で一番低いメキシコが60%台である以外は、全て80%台から100%以上であるのに対し、日本はわずか27%です。関税撤廃等の影響で一層の自給率の低迷が懸念されます。

道では、農政部関連の補正予算案として707億円が計上されていますが、こうした予算によって、本当に生産力が維持され、自給率の向上が図られるのか、懸念されます。

今後、どのようにして生産力維持に取り組み、自給率向上を図っていく考えなのか、伺います。

次に、T P P 等の対策についてです。

昨年12月30日に発効されましたT P P 参加国からの1月の牛肉の輸入量が前年対比55%増と急増しており、関税引き下げの影響が早くもあらわれています。関係者からは、早くも再協議を求める声が上がっています。

日 E U ・ E P A では、チーズの関税引き下げによって、大きな影響を及ぼすことが懸念されています。

また、政府は、T A G と称して、アメリカと事実上のF T A 交渉を進めており、さらに、T P P には、タイなどが新たに加入を目指していると伝えられています。

道は、国が措置した対策で、本道の基幹産業である酪農、畜産が守られると考えているのですか、また、守られないとすれば、改めて影響分析と必要な対策を強く国に求めるべきと考えますが、認識を伺います。

次に、農業用ハウス強靱化緊急対策事業費についてです。

本事業は、昨年の豪雨、台風、大雪被害等の多発と被害拡大を踏まえ、老朽化等により十分な耐候性がなく、対策が必要な農業用ハウスについて、ハウスの補強や防風ネットの設置等に対して支援するものであり、国の緊急対策として、2020年度までの3年間に限って措置されたものと認識しています。

本道においても、台風や大雨などの災害が近年多発しており、本事業は、農業者にとって大変重要なものと考えますが、本事業の対象となる、十分な耐候性がなく、対策が必要な農業用ハウスは道内でどれくらい存在するのか、伺います。

また、国は3年間の緊急対策措置としていますが、農業用ビニールハウスが多数存在する道内においては、支援を必要とする農業者も多いと考えます。わずか3年間で支援を必要とする全て

の農業者への対応が可能なのか、あわせて伺います。

次に、被災農業者向け経営体育成支援事業費についてです。

本事業は、被災した農業者が行う農業用施設や機械の復旧に対して支援を行うものであり、昨年の第4回定例道議会においては、およそ42億円の予算が可決されましたが、先ほど提案された補正予算案において、また、新たに、およそ11億円が盛り込まれています。

今回、新たに補正が必要となった理由を伺うとともに、今回の補正予算案を含めると、総額でおよそ53億円の予算が措置されることとなりますが、今年度、胆振東部地震や台風災害により被災した全ての農業者にとって十分な予算が確保されているのか、道の見解をあわせて伺います。

最後に、社会福祉施設の耐震化等に関し、まず、施設の耐震化等についてです。

社会福祉施設整備事業費として、およそ12億円が計上され、社会福祉法人等が行う施設の耐震化、ブロック塀改修等を、今後3年間かけて行うこととしています。

しかし、本補正予算案での対象施設は、耐震化整備は7施設、ブロック塀改修は8施設にとどまるなど、必要とされる全ての施設が可及的速やかに耐震改修工事を完了できるのか、疑問が残ります。

道は、耐震化整備とブロック塀改修が必要とされる施設数は、それぞれどの程度あると認識しているのか、伺います。

また、3年間で改修整備が必要とされる施設の全てにおいて着実な対策が行えるように、道として、いかにイニシアチブを発揮して取り組むおつもりなのか、伺います。

次に、非常用自家発電設備の整備についてです。

非常用自家発電設備の整備を59施設で行うこととされています。

老人福祉施設、障がい者福祉施設等では、入所者の安全はもとより、福祉避難所としての機能を持つ施設もあることから、防災対策の着実な向上の点でも、速やかな整備が求められます。

しかし、自家発電機は、燃料タンクの安全性等の理由で、稼働時間が長くても6時間程度とされているものも多いと聞いています。再びブラックアウトが発生し、停電が長期間に及んだ場合、燃料の不足により、発電機を稼働できないケースも十分に考えられます。

今後、燃料の優先搬入を行うなど、停電時における社会福祉施設への支援の拡充が必要と考えますが、見解を伺います。

以上で私の質問を終わります。（拍手）

○議長大谷亨君 知事高橋はるみさん。

○知事高橋はるみ君（登壇）菊地議員の御質問にお答えをいたします。

最初に、食料自給率の向上についてであります。本道農業は、専門的な農家を中心に、水稲、小麦、バレイショ、生乳など、国民生活にとって重要な、多くの農畜産物の安定生産に取り組んでいるところであります。

このたびの補正予算案においては、こうした取り組みを一層推進していくため、競争力のある産地への転換や、効率的な経営を目指す農業者を支援する産地パワーアップ事業や畜産クラスター

一事業などとあわせ、災害に強い農地基盤をつくるための農業農村整備事業等の促進、さらには、被災された農家の施設、機械の早期復旧への助成などを計上したものであり、国内最大の食料供給地域として、引き続き、食料自給率の向上に向け、生産力の維持向上に取り組んでまいります。

次に、影響分析などについてであります。道では、TPP11等の影響試算において、畜産物に係る関税の削減等の影響で、価格低下による生産額の減少が生ずるものの、体質強化対策や経営安定対策により、引き続き、生産や農家所得が確保され、国内生産量が維持されると見込んでいるところであります。

協定の発効により、関税率などが段階的に引き下げられ、長期にわたって対応が必要となることから、道といたしましては、関係団体とも連携をし、生産者や地域の方々のお声をお伺いするなど、本道への影響について継続的に把握するとともに、本道酪農・畜産が、いかなる国際環境下においても、その再生産が可能となり、持続的に発展していけるよう、今後とも、必要な対策を国に求めながら、酪農、畜産の生産基盤の整備など、万全の対策を講じてまいる考えであります。

次に、農業用ハウスの被害防止対策についてであります。台風等による農業用のハウス被害が多発したことから、国において、対策を要するハウスについての緊急点検を行った結果、設置面積ベースで、道内では672ヘクタール余りのハウスが補強等の実施が必要と判明をいたしたところであります。

こうしたことから、道といたしましては、昨年の大雪や台風による被害なども踏まえ、保守管理の強化に向けた、現場で活用できる農業用ハウスの被害軽減のためのマニュアルを作成し、農業改良普及センター等を通じて指導、周知するとともに、市町村やJAなどとも十分に連携しながら、3年間の緊急対策期間において、ハウス本体の補強などの必要な支援が計画的になされるよう、地域と一体となって取り組み、農業者が安心して営農できるよう対応してまいる考えであります。

次に、被災農業者向け経営体育成支援事業についてであります。道では、胆振東部地震や台風21号により被害を受けた農業者の方々に対し、農業生産に必要な施設、機械の復旧等を支援するため、さきの定例会において予算措置したところでありますが、その後も、農家の方々の被害状況や営農意向などについて、市町村や農協を通じて把握に努めたところ、本事業の対象者の増加などが見込まれるため、このたびの補正予算に計上をいたしたところであります。

道といたしましては、地元関係団体等とも十分連携しながら、引き続き、農業改良普及センターを通じたきめ細やかな営農指導とあわせ、本事業を活用した農業者の負担軽減に取り組み、1日も早い営農再開に向け、力を尽くしてまいります。

次に、社会福祉施設の耐震化等についてであります。道内の社会福祉施設に関して、耐震改修を要するものは、平成29年3月末現在で1038棟、ブロック塀の改修を要するものは、平成30年10月現在で35カ所となっているところであります。

道では、これまでも、社会福祉施設利用者の方々の安全と安心を確保するため、対策が必要な社会福祉施設の管理者である市町村や法人に働きかけてきたところであり、今回の胆振東部地震を踏まえ、耐震化等が必要な施設の詳細な状況を把握するなどして、今後一層の働きかけを行ってまいる考えであります。

最後に、社会福祉施設の非常用自家発電設備についてであります。道では、これまでも、社会福祉施設に対して、停電時においても最低3日間はサービスの提供が維持できるよう、水や食料、燃料などの備蓄を助言してきているところであります。

また、災害時には、道が指定する避難所や社会福祉施設などへ石油類を優先提供できる旨の協定を燃料販売事業者団体と締結するなどしているところであり、今後は、こうした取り組みに加え、今般の国の緊急対策を活用した非常用自家発電設備の設置について働きかけを行ってまいる考えであります。

以上でございます。